

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成26年12月4日(2014.12.4)

【公開番号】特開2014-15483(P2014-15483A)

【公開日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-005

【出願番号】特願2013-219880(P2013-219880)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04 (2006.01)

C 07 C 215/44 (2006.01)

C 07 B 53/00 (2006.01)

A 61 P 35/00 (2006.01)

A 61 K 31/519 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

【F I】

C 07 D 487/04 1 4 0

C 07 C 215/44 C S P

C 07 B 53/00 G

A 61 P 35/00

A 61 K 31/519

A 61 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月22日(2014.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式 R^u N⁻ - S (O)₂ X⁺ の化合物であって、式中、

Xは、トリエチレンジアミン、ジアザビシクロ[5.4.0]ウンデク-7-エン(D

B U)、1,5-ジアザビシクル[4.3.0]ノン-5-エン、スバルテイン、1-ア

ザビシクロ[2.2.2]オクタン、N,N'-ジメチルピペラジン、およびN-エチル

モルホリンからなる群から選択される第三級アミンであり、

R^uは、-C(O)OC(R^v)₂(R^w)または-C(O)N(Ph)₂であり、

R^vは各々独立に、C_{1~10}脂肪族、アリールまたは水素から選択され、

R^wは、C_{1~10}脂肪族、またはアリールであり、あるいは、

1個のR^vは、C_{1~10}脂肪族であり、もう1個のR^vは、R^wと一緒にになって、C

3~6脂環式環を形成している、

化合物。

【請求項2】

Xは、トリエチレンジアミン、1-アザビシクロ[2.2.2]オクタン、N,N'-ジ

メチルピペラジン、およびN-エチルモルホリンからなる群から選択される、請求項1に

記載の化合物。

【請求項3】

Xは、トリエチレンジアミンである、請求項1または2に記載の化合物。

【請求項4】

R^w は、メチルまたはフェニルである、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

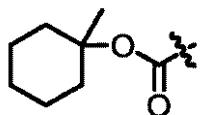
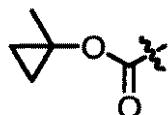
【請求項 5】

R^v は各々独立に、メチル、エチル、ブチル、ヘキシル、オクチルまたはフェニルであるか、あるいは、R^v は各々独立に、水素、メチルまたはエチルである、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 6】

R^u は、-C(=O)OCMe₃、-C(=O)OCH₂Ph、-C(=O)N(Ph)₂、-C(=O)OC(Me)₂Ph、-C(=O)OCH(Me)Ph、-C(=O)OC(Me)₂Et、-C(=O)OC(Et)₂Ph、-C(=O)OC(オクチル)₂Ph、

【化 12】



, および .

からなる群から選択される、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 7】

R^u は、-C(=O)OCMe₃ である、請求項 6 に記載の化合物。

【請求項 8】

R^u は、-C(=O)OC(R^v)₂(R^w) であり、1 個の R^v は、C₁～₁₀ 脂肪族であり、もう 1 個の R^v は、R^w と一緒にシクロプロピルまたはシクロヘキシルを形成している、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 9】

X は、トリエチレンジアミンであり、R^u は、-C(=O)OCMe₃ である、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の化合物。

【請求項 10】

請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載の式 R^uN⁻-S(=O)₂X⁺ の化合物と、X のヒドロクロリド塩とを含む錯体。

【請求項 11】

前記錯体において、式 R^uN⁻-S(=O)₂X⁺ の化合物の、X のヒドロクロリド塩に対する比は、1 未満であるか、該錯体において、式 R^uN⁻-S(=O)₂X⁺ の化合物の、X のヒドロクロリド塩に対する比は、約 1 であるか、または、該錯体において、式 R^uN⁻-S(=O)₂X⁺ の化合物の、X のヒドロクロリド塩に対する比は、1 を上回る、請求項 10 に記載の錯体。

【請求項 12】

R^u が -C(=O)OC(R^v)₂(R^w) である式 R^uN⁻-S(=O)₂X⁺ の化合物を形成するためのプロセスであって、下記ステップ：

I - E) (R^w)(R^v)₂C-OH をクロロスルホニルイソシアナートで処理するステップ；

II - E) ステップ I - E) で形成した反応混合物を X で処理するステップ；および
III - E) スルファモイル化試薬 R^uN⁻-S(=O)₂X⁺ を単離するステップ；
を含み、

式中、R^v、R^w および X は、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載の要素を持つ、
プロセス。